

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[コンソールアクセスが無効である理由](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、オンライン状態になったケーブル モデムへのコンソールまたは Telnet アクセスがディセーブルになる理由について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントを読む人は Data-over-Cable Service Interface Specifications (DOCSIS) プロトコルの基本的な知識がある必要があります。

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

コンソールアクセスが無効である理由

ケーブルモデムのケーブルインターフェイスが初期化されない時、他の Cisco ルータのようにケーブルモデム 機能へのコンソール および Telnet アクセス。ただし、モデムがオンラインステータスを獲得し、ケーブルインターフェイスが初期化されれば、DOCSIS コンフィギュレーション ファイルを通じたケーブルモデムにダウンロードされるコンソールアクセスは新しい設定の後で自動的にディセーブルにされます。この新しくダウンロードされた設定はエンドユーザに目に見えない新しい Telnet パスワードおよび新しいイネーブルパスワードが含まれています。これらの変更はすべてサービスプロバイダーによって制御されます、それらを無効にするために従って設定はケーブルモデム側ですることができません。以前に保存された設定は新しくダウンロードされたコンフィギュレーション ファイルによって置き換えられます。これはケーブルモデム 設定を不正変更することがケーブルモデムであるオンライン一度防がれるようにされます。このセキュリティ対策は米国のケーブルテレビ業者の大半によって要求行いました。

さらに、アクティブなイネーブル セッションのユーザはダウンロードの前にイネーブル モードが

ら強制発生し、コンソールはロックされて、ユーザがイネーブルモードに再び得るか、またはパスワードを変更することを防ぎます。このアプローチによってはまたセキュリティが実行コンフィギュレーションを表示するユーザによって危殆化されるという問題が当たります。たとえば、簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) コミュニティパスワードは妥協されません。

インターフェイスが初期化するたびに実行コンフィギュレーションファイルへの Cisco IOS® ソフトウェアコンフィギュレーションファイルのコピーすることは不揮発性 RAM (NVRAM) に設定を書き込む必要を防ぎます。フィルタリングすれば、実行コンフィギュレーションファイル決してユーザに目に見えなければイーサネットインターフェイスを通る Telnetアクセスが設定によってケーブルデバイス MIB を通って制限されなければ。

注: Cisco IOSソフトウェアコンフィギュレーションファイルをダウンロードする方法の詳細な情報に関しては [Cisco DOCSIS コンフィギュレータを使用した DOCSIS 1.0 コンフィギュレーションファイルの構築 \(登録ユーザのみ\)](#) の Cisco Vendor Specific Fields セクションを参照して下さい。設定が機能していることを確認するために、コンフィギュレーションファイルで作成されたパスワードを使用してヘッドエンドルータからケーブルモデムに Telnet接続を作して下さい。以下はケーブルモデムの show version コマンド出力に現われる必要があります:

```
Host configuration file is "ios.cnf", booted via tftp from .....
```

関連情報

- [Cisco DOCSIS コンフィギュレータを使用した DOCSIS 1.0 コンフィギュレーションファイルの構築 \(登録ユーザ専用\)](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)